



社会福祉法人 流山市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

ながれやま

2022.3.15 第192号

# 福祉だより

流山市社協案内地図



千葉県流山市平和台2-1-2 電話:04-7159-4735



子ども食堂も重要な支援策のひとつ



中学生のボランティア体験の場にもなっています

内閣府が昨年12月24日（金）に公表した「子供の生活状況調査の分析報告書」で食料が買えない経験があると答えたひとり親家庭が3割にのぼることが分かりました。こうした中、流山市内には、16カ所の子ども食堂があり、コロ

子ども食堂は、子どもが一人でも行ける無料または低額

の食堂です。地域コミュニティの拠点と子どもの貧困対策

ナ禍のため活動を休止している一部を除いて、感染予防を徹底しながら、会食をはじめ食材を提供するフードパントリーや、食品の寄付を募るフードドライブなどの活動を続けています。

という2つの役割をもつことが多く、全国で約五千カ所にのぼるものと推計され、流山市内でも5年前に1カ所が誕生し、現在では16カ所に増え

ています。

働く大人と出会い、遊んでいても叱らない大人がいること、知つて、昔遊びや読み聞かせ、食育、防災など工夫を凝らし

ています。

今回は、市内の子ども食堂の活動の一端をご紹介します（関連記事2～3面）。

## 朝市でフードドライブ 中高生ボランティアが活躍

新型コロナウイルス感染症の拡大防止などで休止されたいた「うんがいい朝市」が、利根運河交流館（若松文館長）によって昨年12月25日（土）、運河水辺公園周辺で2年振りに開催されました。

会場には、「みんなの食堂あつまれ西深井の森」も出店し、中高生のボランティアが中心になって手づくりのゲームコーナーや子ども食堂等への食材の寄付を集めフードドライブが行われました。次回

は、3月26日（土）9時から運河水辺公園で開催されます（雨天中止）。「みんなの食堂あつまれ西深井の森」では、多くの中高生のボランティアが活躍しています。

1月27日（木）には、大手スーパーからご寄付いただきたパンなどを並べたり、配布したりする作業に学校帰りの東深井中学校の生徒の皆さん

が汗を流しました。

事務局長がコーディネーターとして参加しました。

瀧谷教授は、「誰でも参加しやすい子ども食堂は楽しい場所でよく、そこに関係者が足を運んで子どもたちと顔見知りになると子どもたちがサポートを求めやすくなる」と助言。

高橋亮

# 家庭に寄り添う子ども食堂

## 地区社協や自治会などとも連携



たプログラムで文化的な体験と交流が可能な子ども食堂。商店街と連携しまちの活性化や食材の提供だけでなく、学習支援をしてくれるところ、小中高校生が手伝いながらボランティア体験できるところなどさまざまの特色があります。

ご寄付いただいた食料品を保存し、各子ども食堂に配分しているフードバンクもあり、流山の子ども食堂等は、東葛地域で最も活発になりつつあります。

高校生ボランティアでは、東葛飾高校の矢口綾香さん、流通経済大学附属柏高校の日高由翔さん、秀明八千代高校の石川泰智さんらが毎回活動を続けています。皆さんには、今春進学などそれぞれの道に進ますが、その一人、日高さんは帝京大学のサッカー部に進むため下宿生活になることから転居先の近くの子ども食堂に連絡を取って「大学生になつてもボランティア活動を続けたい」と語っています。

流山市社会福祉協議会では、「共同募金」をはじめ「公益社団法人オリックス宮内財団」、「一般社団法人全国食支援活動協力会」などさまざまな法人の助成金を通じて子ども食堂の活動を支援させていただいている。

## ヤングケアラーを考える 支援の方策などを探るシンポジウム

1月23日（日）、スタッフおおたかの森ホールで「ヤングケアラーの心の声は届くか」というシンポジウムが行われました。

新型コロナウイルスの感染予防のため五百人の客席を二百人に制限し、オンラインでも同時開催されました。

介護や世話をあるから、

学校の活動も友達との交流も我慢するのは家族だから当たり前」と社会課題のひとつになっているヤングケアラー。

令和3年4月に国が発表した実態調査では、中学生の17人に1人が、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、

国は「ヤングケアラー支援」の施策を検討実施する中で、支援策のひとつとして子ども食堂支援を挙げています。

成蹊大学の瀧谷智子教授による「ヤングケアラーの実態」

の活動を通じて子どもたちに寄り添う」というパネルディスカッションでは、どうかつ

草の根フードバンクの高橋亮

感情面のサポートなどを実行しているという実態が発表されました。

支援策のひとつとして子ども食堂支援を挙げています。

瀧谷教授は、「誰でも参加しやすい子ども食堂は楽しい場所でよく、そこに関係者が足を運んで子どもたちと顔見知りになると子どもたちがサポートを求めやすくなる」と助言。

子ども食堂の皆さんは、日頃の活動を通して子どもたちに寄り添い、支援につなげる必要性を確認しました。



助成金で整備された県生涯大学校子ども食堂の冷蔵庫等



「うんがいい朝市」で行われたフードドライブ

# インクルーシブなコンサート

「どなたにも音楽を」と子ども食堂が企画

1月30日(日)、生涯学習センター流山エルズでインクルーシブコンサートが開催されました。

このコンサートには、発達障害児童をお持ちのご家庭をはじめ音楽に触れるごとに難しい事情がある方など、どなたにも生の音楽を楽しんでいただきたいと南流山子ども食堂等が企画したものでした。



会場の様子はNHKで放送されました

もいらっしゃいますので予めご了承ください」と書かれ、いすにずっと座つていられない子のために横になれる客席も用意されました。

出演は、島田佳子さん(ソプラノ)、竹内沙耶香さん(サクソフォーン)、金川聰美さん

(ピアノ)の3人。  
主催した南流山子ども食堂の活動は、どんな子でも参加でき、多様性を認める共生社会を目指しており、包み込むという意味の「インクルーシブ」を体現していることから趣旨に賛同した生涯学習セン

## ご高齢者が玩具づくり

### 南流山児童センターのオープンを前に

札。お手玉とカルタを合わせたような玩具です。

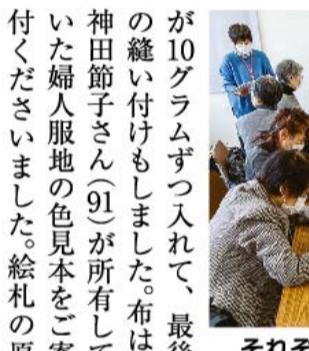
お手玉の縫製したのは、谷田貝てる子さん(73)。昨夏の東京オリンピック・パラリンピックで、日本選手のユニホームの寸法直しなどをした現役の縫製職人さん。ご自宅で縫7センチ、横3・5センチの布4枚を縫い合わせ、百個のお手玉の文字や数字に符合したりストなどが描かれた絵



それぞれの特技を生かしてボランティア

南部地域のご高齢者の皆さん、が、幼児向けの知育玩具づくりに励んでいます。縫製や絵画、写真など往年の特技を生かして地域に役立てようと南部地域包括支援センター(高齢者なんでも相談室)が呼び掛けました。

手づくりしているのは、1文字のひらがなや50までの数字が書かれたお手玉と、そのお手玉の文字や数字に符合したイラストなどが描かれた絵



1月19日(水)、流山市文化会館で東京管区気象台の本多誠一郎地震津波防災官を講師にお迎えし「地域で助け合う防災～地震から命を守る」と題した防災講演会が開催されました。

本多さんは、気象庁に入府し、松代地震観測所長や地震津波監視課、宇都宮地方気象台長などを歴任。専門知識を生かし、地震がなぜ起きるのか、地震速報の仕組みはどうなっているのか、地震や津波から身を守るためにどうしたらよいのかなどを動画などで分かりやすく説明してくださいました。

## 市と共に防災講演会を開催

### 自然災害に備える

「スタンプカードを持って商店街を回ってね」と昨年12月19日(日)、江戸川台東商店街で「みんなの江戸川台キッチン」によるフレードパントリーが行われました。江戸川台東自治会館を中心

に続けられている同キッチャンは、令和元年6月から毎月第3日曜日を中心に開催されています。毎年10月のハロウインと、12月のクリスマスの際には、商店街と連携した企画を続けています。

車両通行止めを利用して出店しめる企画を行うなど商店街の活性化にも貢献しています。また、フレードパントリーで各店舗をご家族で回って楽しめを利用してフリーマーケットなども出店するイベントを開催して人気です。



車両通行止めを利用して出店

## 商店街の活性化にも一役

は、令和元年6月から毎月第3日曜日を中心に行なわれる子ども食堂の活動です。



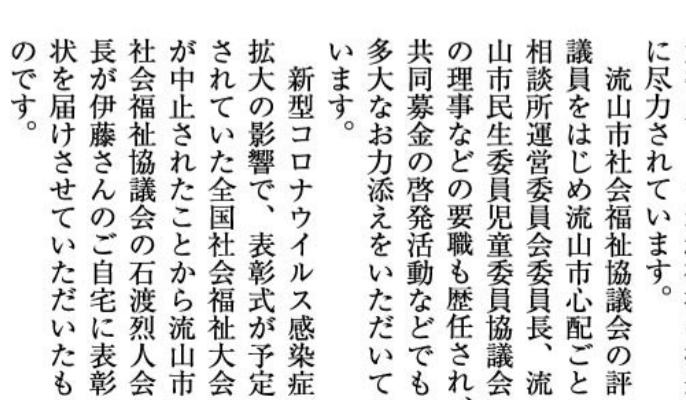
協議会が災害時に立ち上げ、運営する「災害ボランティアセンター」の役割などを解説するパネル展示をはじめ災害時に避難所を運営するための「避難所運営ゲームHUG」の展示なども行われました。この講演会は、流山市が主催し、流山市民生委員児童



32年間、地域福祉に尽力された伊藤さん

## 伊藤和子さんに厚労大臣表彰

伊藤さんは平成元年度から30年以上にわたり民生委員児童委員として地域福祉の推進に尽力されています。流山市社会福祉協議会の評議員をはじめ流山市心配ごと相談所運営委員会委員長、流山市民生委員児童委員協議会の理事などの要職も歴任され、共同募金の啓発活動などでも多大なお力添えをいたしています。



動画などを使って分かりやすく解説

ター流山エルズが共催し、流山市社会福祉協議会が後援させていただきました。

紗心ちゃん(4)・勇心ちゃん(2)と一緒に市野谷からいらした稻毛田恵理さんは「子どもも手拍子したりしてステージに集中していました。こ

うした機会はありがたいです」と感想を聞かせてくださいました。この日の様子は、夕方と夜にNHKのニュース番組で放送されました。

鉛筆で色付けしました。絵札を丈夫にするためのラミネート加工は、羽倉恵子さん(79)が受け持ちました。フジテレビで昭和41年から放送が始まった幼児番組「ママと

子の写真をプリントして破れました。遠矢重子さん(78)が台車の側面に写真を貼りつけました。遠矢さんは、写真サークルに入つて撮り続けた動物の親子の写真をプリントして破れました。地元の大工・上坂行男さん(72)が廃材だけでつくってくださ

いました。玩具を入れる木製の台車は喜ばせるのはお手の物です。

画は、平井邦子さん(83)が担当。カルチャーセンターで学んだ水彩画や油絵の腕を生かして動植物などのイラストを描きました。

アシスタントディレクターを

貼つていきます。

つくった知育玩具は、12月にオープンする南流山児童センターなどに寄贈して、「訪れた親子連れが遊んでくれたら嬉しい」と語ります。南部地域

包括支援センターが、相談や

**歳末たすけあい募金**  
3,612,321円

つながりさえあうみんなの地域づくり  
新たな年を迎えるときに支援を必要としている方が安心して暮らすことができるよう、生活困窮世帯、高齢入所者、障害者施設、交通遺児、子ども食堂などにお届けさせていただきました。

戸別募金(自治会の皆様から)	164件	3,483,144円
職域募金(職場の皆様から)	85件	101,154円
その他(個人・団体・イベント)	9件	28,023円

**赤い羽根共同募金**  
9,582,926円

社会福祉施設の整備や、各種福祉団体・地域福祉活動の推進、災害時の被災地支援などに活用いたしました。

戸別募金(自治会の皆様から)	166件	7,322,689円
街頭募金(市内の駅、商業施設で実施)	4件	22,515円
法人・商店募金	187件	1,012,100円
職域募金(職場の皆様から)	94件	113,863円
学校募金(児童・生徒・教職員の皆様から)	32件	616,884円
カード・バッジ募金(個人・団体)	103件	309,032円
その他(個人・団体・イベント)	31件	185,843円

※金額はいずれも2月22日現在

「笑いで社会貢献を」と、昨年  
コロナ禍の暗い世相の中で  
開催されました。  
10月16日(土)生涯学習センタ  
ー流山エルズで「流山寄席」が  
開催されました。  
コロナ感染予防を徹底し、  
流山落語同好会(好々家あふ  
ました)、協議会の三者共催で企画され  
ました。

昨年に続く2回目の開催で  
10月20日(土)、スタートおお  
まつたアマチュア落語家ば  
ら8人によるアマチュア落語家が流山寄席  
笑いの力で社会貢献

# あなたのやさしさを

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

「笑いで社会貢献を」と、昨年  
コロナ禍の暗い世相の中で  
開催されました。  
10月16日(土)生涯学習センタ  
ー流山エルズで「流山寄席」が  
開催されました。  
コロナ感染予防を徹底し、  
流山落語同好会(好々家あふ  
ました)、協議会の三者共催で企画され  
ました。

樂代表)と生涯学習センター  
流山エルズ、流山市社会福祉  
協議会の三者共催で企画され  
ました。

樂代表)と生涯学習センター  
流山エルズ、流山市社会福祉  
協議会の三者共催で企画され  
ました。

かけに平成22年4月に発足。  
毎週土曜日の午前9時から正  
午まで野々下福祉会館などで  
練習を重ねてきました。  
前年に10周年を迎え、記念  
コンサートを計画しましたが、  
コロナ禍により延期になり、  
1年遅れのリベンジ公演では、  
ご家族や地域への感謝を込め、  
赤い羽根共同募金のチャリテ  
イ企画として開催。会場に募  
金箱を設置し、二万百四十二  
円のご寄付をお寄せいただ  
きました。

千葉県共同募金会流山市支会  
の事務局として活動しています。  
共同募金運動は、第二次世  
界大戦後の1947(昭和  
22)年に「国民たすけあい運  
動」として始まり、おかげさ  
まで75回目を迎えました。

皆様の変わらぬご理解、ご  
協力を心よりお願い申し上げ  
ます。

などに招かれ得意の嘶を披露  
していましたが、令和元年春  
に同好会を結成しました。会  
場に置かれた赤い羽根共同募  
金の募金箱には二万四千六百  
円のご寄付をお寄せいただ  
きました。

なお、流山落語同好会の皆  
さんは、12月18日(土)に流山  
市社会福祉協議会館で開催された「歳末  
たすけあい」募金の際にもご  
協力くださいました。





# 成年後見制度つてなあに?!

## 出前講座をご利用ください

1月14日(金)、江戸川台東自治会館で福祉講座「成年後見制度を知ろう」が開催されました。

同自治会の福祉厚生部が制度の概要と制度を利用できるケースを学ぼうと企画したものです。



身近で関心が高い成年後見制度

を使って基本的な内容をご説明させていただきました。会場では熱心にメモを取りられる方々も多く、関心が高いことからご質問も数多く寄せられました。

流山市成年後見推進センターでは、出前講座を開催しています。今回ののような自治会をはじめ地区社協や地域のゲ

### お気軽にご相談を

#### 各所で成年後見等無料個別相談会

流山市成年後見推進センターでは、成年後見制度や遺言、相続についての相談会を開催します。法律や福祉のそれぞれの制度に詳しい相談員に40分の中等では、成年後見制度や遺言、相続についての相談会を開催します。

成年後見制度は、判断能力が不十分な状態でも、当たり

#### 成年後見・遺言・相続 無料個別相談会

開催日	場所
5/10(火)	ケアセンター
6/20(月)	東部公民館
7/7(木)	ケアセンター
8/19(金)	北部公民館
9/29(木)	ケアセンター
10/13(木)	ケアセンター
11/22(火)	ケアセンター
12/7(水)	初石公民館
令和5年 1/16(月)	ケアセンター
2/21(火)	森の俱楽部
3/10(金)	ケアセンター

前の権利が法的に守られるための重要な手段です。「制度を利用したいけれど、どのように手続きしていいのか分からぬ」「障害がある支度を考えたい」「障害がある子の将来に備えたい」などさまざまな心配ごとを安心につなげるためにぜひ、ご利用ください。

△対象者：市内在住・在勤・  
犬に本を読み聞かせる「わんわん読書会」が1月16日  
午後2時から開催されました。この日は、日本動物病院協会議会が後援させていただきます。

この日は、アセントーで、さわやかクラブ流山（流山市老人クラブ連合会・石幡恒美会長）の役員会が開催されました。この日は、会員のアンケート結果をもとに今後の活動のあり方などを話し合いました。高齢期を楽しく、生きがいをもって、安心して暮らしていくために、地域で身近な仲間と支え合いながら過ごすとさまざまな活動が続けられています。市内には現在、61

クラブ、二千三百六十三人の会員が、会員同士の親睦や交流活動、社会奉仕活動などを楽しんでいます。ご近所の老人クラブの活動が知りたい、老人クラブ活動を見学したい、地域で老人クラブをつくりたい等のお問い合わせはお気軽に同事務局へ。開設はお気軽に同事務局へ。

会（JAH）の協力を得て、ボランティアが訓練した柴犬やラブラドルレトリバーなどのセラピー犬が来場。

参加した小学生は、犬に読み聞かせるため絵本を選び、事前に犬への接し方などをボランティアから教えてもらつて音読に挑戦しました。

この「わんわん読書会」は、犬と触れ合うことで子どもたちに命の大切さや他者への思いやりを学んでほしいと流山市社会福祉協議会が後援させていただいています。

市社会福祉協議会が後援させていただいているもので

1月14日(金)、江戸川台東自治会館で福祉講座「成年後見制度を知ろう」が開催されました。

同自治会の福祉厚生部が制

度の概要と制度を利用できる

ケースを学ぼうと企画したも

のです。

当日は、流山市成年後見推

進センター（成年後見中核機

関）から社会福祉士がお邪魔

させていただき、スクリーン

を使つて基本的な内容をご説

明させていただきました。会

場では熱心にメモを取りれる

方々も多く、関心が高いこと

からご質問も数多く寄せられ

ました。

流山市成年後見推進センタ

ーでは、出前講座を開催して

います。今回のような自治会

をはじめ地区社協や地域のゲ



